

はじめに

FLB3578 (FIPS 対応モデル) コードレス スキヤナのクレードルは、DS3578 コードレス スキヤナの充電器および無線通信インターフェースとして機能します。アイソレータ 3 個でスキヤナを取り付け ブラケットに取り付けます。その後で ブラケットをフォーカリフトの表面に取り付けます。

FLB3578 (FIPS 対応モデル) クレードルをご使用の場合、Bluetooth 無線でスキヤナからデータを受信し、ケーブル接続によって受信データをホストに送信することができます。クレードルは充電器とともに機能し、スキヤナをセットするとスキヤナの内蔵バッテリパックが自動的に充電されます。フォーカリフトの携帯電源からクレードルに電源を供給します。

このガイドでは、クレードルの設定方法と使用方法について説明します。データ転送に関する記述はすべて、FLB3578 クレードルに限定されます。

FLB3578 クレードルは、LS3578 スキヤナの充電および無線通信に使用することができます。

注意 LS3478 および DS3478 コードレス スキヤナは、FLB3508/3578 クレードルとは互換性がありません。LS3578 および DS3578 コードレス スキヤナは、FLB3408/3478 クレードルとは互換性がありません。

パッケージ内容

クレードルのパッケージの内容は次のとおりです。

- ・ クレードル
- ・ 取り付けブラケットとアイソレータ
- ・ 8-32 x 1.5 インチ プラス ネジ 3 本 (取り付けブラケットへのクレードル取り付け用)

アクセサリ

次の機器が必要な場合があります。

- ・ 最短サイズ 1.0 インチの 1/4-20 ネジ 4 本 (取り付け面へのブラケット固定用)
- ・ 梱包箱は、保管や搬送のために保存しておいてください。破損していないかどうかすべての機器を確認してください。万一、破損や不足がある場合は、直ちに Zebra Technologies サポートセンターにご連絡ください。

関連文書

LS3578 Product Reference Guide (部品番号 72E-93911-xx)

LS3578 クイック スタート ガイド (部品番号 72-93587-xx)

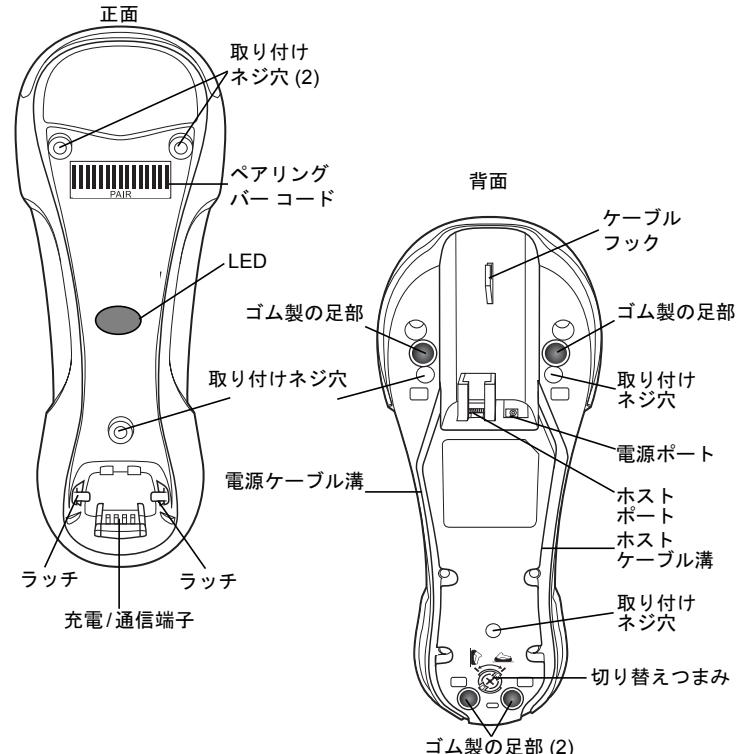
DS3578 Product Reference Guide (部品番号 72E-110462-xx)

DS3578 クイック スタート ガイド (部品番号 72-151247-xx)

STB3508/3578 クイック リファレンス ガイド (部品番号 72-150220-xx)

この文書は、<http://www.zebra.com/support> から入手できます。

クレードル各部の名称



クレードルの接続

重要 スキヤナとクレードルの正しい動作のため、必要に応じて次の手順でインターフェース ケーブルと電源を接続してください。

1. インタフェース ケーブルをクレードルのホストポートに接続します。
2. フォーカリフトの電源を使用する場合は、電源をクレードルの電源ポートに接続します。
3. オプション: ホスト ケーブルをケーブル フックに通し、ホスト ケーブルと電源ケーブルをそれぞれのケーブル溝に沿って配線します。またはケーブル タイを使用して、取り付けプレートをクレードルに取り付けた後に取り付けプレートにケーブルを固定します (「クレードルの取り付け」を参照)。
4. クレードルのペアリング バーコードをスキャニングして、スキヤナをクレードルとペアリングします。
5. インタフェースが自動検出されない場合は、適切なホスト バーコードをスキャニングします。詳細については、「Product Reference Guide」を参照してください。

ホスト インタフェースの変更

接続先を変更する場合や、使用するケーブルを変更する場合は、次の手順に従ってください。

1. 電源ケーブルを使用している場合は、クレードルから取り外します。
2. ホストからインターフェース ケーブルを取り外します。
3. インタフェース ケーブルを新しいホストに接続します (接続先を変更する場合)。または、新しいインターフェース ケーブルを既存のホストに接続します (ケーブルを変更する場合)。
4. 必要に応じて、電源ケーブルを再接続します。
5. インタフェースが自動検出されない場合は、適切なホスト バーコードをスキャニングします。詳細については、「Product Reference Guide」を参照してください。

ホスト インタフェースを使用した電力の供給

ホストによっては、外部電源ではなくホスト インタフェースを介してクレードルに電力を供給できる場合があります。

注意 スキヤナがホストを認識しない場合は、電源を切り離し、ホストケーブルを接続してから再接続します。

クレードルの取り付け

卓上での使用

1. 取付場所切り替えつまみ (卓上/壁面) が、右記のように正しい位置に設定されていることを確認します。
2. クレードルを卓上で使用し、固定する必要がない場合は、クレードルのパッケージに入っているゴム足の裏側から保護用の紙をはがし、クレードルのプラスチックにあるくぼみにゴム足を取り付けます。これによりクレードルが安定し、設置面に傷が付くのを防ぐことができます。

壁面への取り付け

✓ 注 壁面に取り付ける場合は、ゴム製の足部を使用しないでください。

クレードルを壁面に取り付けるには、次の手順に従ってください。

1. プラス ドライバーを使用して、切り替えつまみ (卓上/壁面) を下記の位置に切り替えます。正面のラッチが突起します。このラッチにハンドル底部のくぼみがはまり、スキヤナが固定されます。
2. インタフェース ケーブルと電源ケーブルを適切なポートに接続します (「クレードルの接続」を参照)。
3. ケーブル溝に沿ってケーブルを配線します。
4. 設置面にクレードルを配置します。このガイドに記載されている壁面取り付けテンプレートを使用することができます。
5. クレードルの底部にある 3 つの穴で取り付け面に印を付けておきます。または取り付けテンプレートを使用して、ネジ穴位置の印を決めます。
6. 1.5 インチの #8 プラス ネジを留める 3 力所に軽く穴を開けておきます。
7. 設置面にクレードルをしっかりと取り付けます。
8. スキヤナをクレードルに設置します。

注意 クレードルに液体をこぼしたり、吹きかけたりしないでください。

ホスト コンピュータへのデータの送信

クレードルは無線通信によってスキヤナからデータを受信して、それをホスト ケーブルによってホスト コンピュータに転送します。無線通信を確立するには、スキヤナとクレードルのペアリングを実行する必要があります。

ペアリング

ペアリングを実行してクレードルにスキヤナを登録すると、そのスキヤナとクレードルの間でデータ交換が可能になります。FLB3578 には、2 種類の動作モード (シングルポイント (シングル) モードおよびマルチポイント (マルチ) モード) が用意されています。シングルポイント モードで使用する場合は、スキヤナをクレードルにセットするか (セット時のペアリングが有効な場合)、ペアリング バーコードをスキャニングしてペアリングを行います。FIPS 非対応デジタル スキヤナとクレードルをマルチポイント モードで使用する場合は、1 台のクレードルに対して 3 台までのスキヤナをペアリングすることができます。FIPS 対応デジタル スキヤナと FIPS 対応クレードルを使用する場合は、1 台のクレードルに対して 7 台までのデジタル スキヤナをペアリングすることができます。この機能を使用するには、マルチポイント バーコードをスキャニングする必要があります。

詳細については、「Product Reference Guide」を参照してください。

ペアリング バーコードは、クレードルの正面と背面の両方に貼付されています。スキヤナをクレードルとペアリングするには、ペアリング バーコードをスキャニングします。ペアリング バーコードとリモート機器への接続が完了すると、高音 - 低音 - 高音 - 低音に続いて低音 - 高音という順番でビープ音が鳴ります。ペアリングが正しく完了しなかった場合は、長い低音 - 長い高音の順番でビープ音が鳴ります。詳細については、「Product Reference Guide」を参照してください。

ホストへの接続の切断

スキャナしたデータがクレードルの接続先ホストに正しく転送されない場合は、すべてのケーブルがしっかりと接続されていることと、電源が正常に動作している AC コンセントに接続されていること (該当する場合) を確認します。それでもスキャナしたデータがホストに転送されない場合は、ホストへの接続を再確立してください。

1. クレードルから電源ケーブルを取り外します。
2. クレードルからホスト インタフェース ケーブルを取り外します。
3. 3 秒間待機します。
4. ホスト インタフェース ケーブルをクレードルに接続し直します。
5. 必要に応じて、電源をクレードルに接続し直します。
6. ペアリングのバーコードをスキャニングし、クレードルとのペアリングを確立し直します。

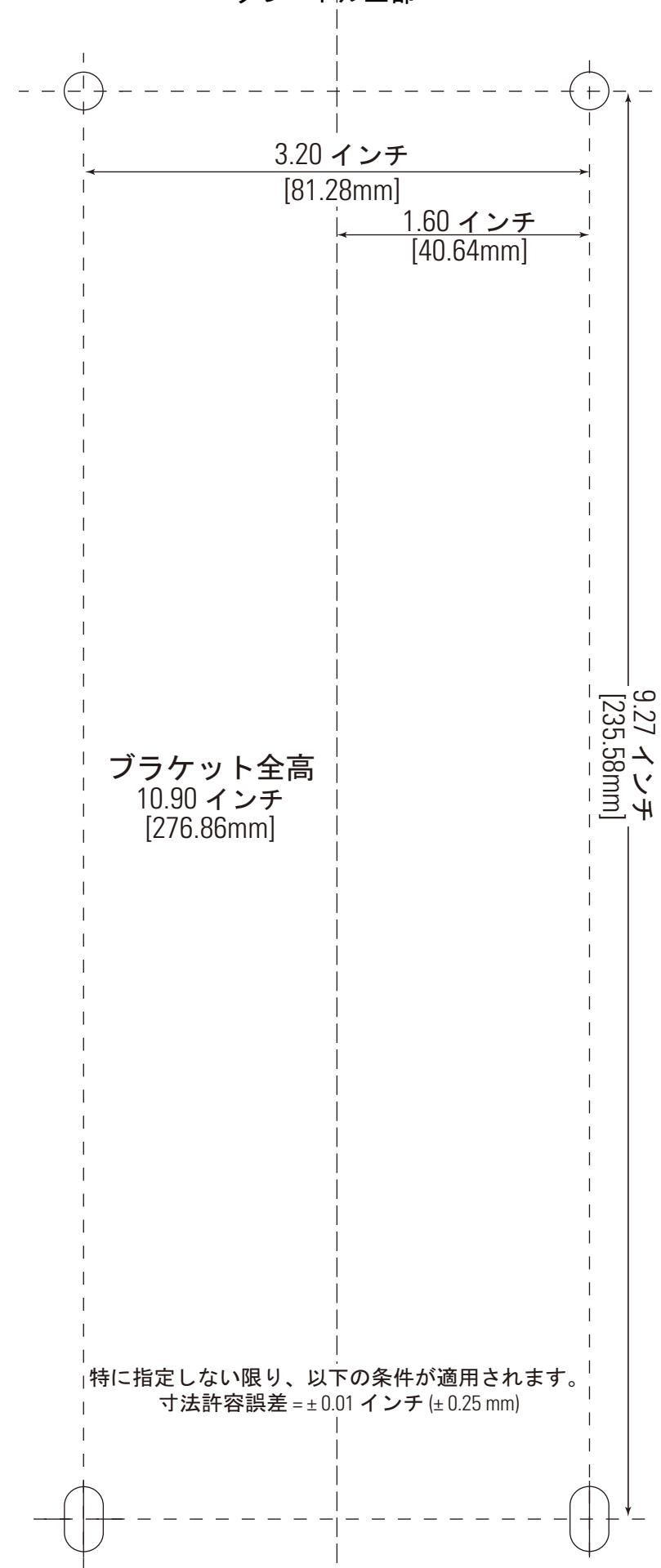
✓ 注 ホスト インタフェースによっては、FLB3578 を必ずしも電源に接続しておく必要があります。

クレードルでのスキヤナ バッテリの充電

スキヤナのバッテリを充電するには、スキヤナをクレードルにセットします。バッテリの充電が開始されると、スキヤナの LED インジケーターが緑色に点滅します。完全に放電したバッテリをフル充電するには、外部電源を使用する場合で最大 4.5 時間、インターフェース ケーブルを使用する場合で最大 10 時間かかります。

取り付けテンプレート

クレードル上部



特に指定しない限り、以下の条件が適用されます。

寸法許容誤差 = ± 0.01 インチ (± 0.25 mm)